3 日刊運輸新聞 2007年5月23日(水) (第三種郵便物認

エルエスエム

貨物追跡システムDPS

KPI機能を搭載

各社のソリューション

エルエスエム（本社＝大阪市）は、戦略的インフラソリューションの提供により、ユーザー企業の利益と事業価値増加に貢献する事をミッションとして掲げ、情報、通信、物流のリレーションから新しいビジネスモデルを作りあげるフロンティアカンパニーを目指している。

同社の提案型ロジスティクスソリューションの中心的存在がWMS。提供するWMS・LIFieldは、標準機能を充実させ、DB構造自由設定により、カスタマイズ量を削減可能にすることで多機能、低価格を実現。ドットNET版では、先端技術を使用してプログラミングされていること、コア部分を最小限機能に設定してパッケージ価格を抑えていること、コンポーネント設計によるカスタマイズ工数を削減可能にすることでオリジナル機能、柔軟な価格を実現した。また、KPI（業務分析）、精算、適正在庫分析機能という、WMSの概念を超越したロジスティクスフィールドマネージメントとしてROI（投資効果）を実現可能にする。

費用対効果を目的にし、ロジスティクスパフォーマンスを最大限に発揮するために開発した貨物追跡システム・ドライバーズポータルサイト（DPS）は、ロジスティクスシステム専門会社としてのノウハウを存分に生かしたエルエスエムオリジナルのロジスティクストレーサビリティソリューション。

DPSは、各ドライバーが携帯電話ひとつだけで目的に応じた入力を短時間で行うことができ、配送管理担当者は、WEB画面を閲覧するだけでリアルタイムにドライバーが入力した配送情報を管理することができる。

このDPSはKPI機能を搭載。現在、大手コーヒーチェーンのドライ品配送管理に導入されており、全国八運送会社それぞれのインターフェイスを統括し、リアルタイムでの配送情報を管理している。

大手コーヒーチェーンの蓄積された配送情報は、KPI機能を利用して、配送効率、積載効率を向上させる分析データとして活用するとともに、配送品質向上のための指標としても活用している。また、WMS・DPSをシステム連携した配送請求管理システム（独自開発）との組み合わせにより、リアルタイムに請求管理を行うことが可能。

DPSは、低価格（ASP）でありながら物流会社全般の情報管理（日報、車両情報、勤怠情報など）まで行うことができ、GPSの位置情報だけでは把握し切れない配送情報を捉えることができる点では、ほかのTMSと差別化された貨物追跡システムパッケージであり、配送管理者にとって非常に有効な情報管理ツール。

これまでのWMS、DPSなどのシステム開発で培った経験を生かし、同社はノンアセット型3PL事業の展開を始めている。昨年十二月には、ファッションビルを中心に出店しているアパレルヤングカジュアルブランドの物流業務を、千葉県柏市に拠点（エルエスエム柏センター）を構えて受託し、次いで本年五月から知育玩具の物流業務を受託している。

純粋に荷主にとって最適な物流構築ができるよう、輸送会社、倉庫会社、システム会社を統合し制御する、荷主の物流部門としての役割も担うLLP（Lead Logistics Provider）として活動を広げている。

DPSを導入した大手コーヒーチェーンの物流業務においては、配送コールセンター業務を受託し、店舗に対する配送情報の提供とQA対応を行っている。このほか、店舗への納品を円滑に行うために、庫内業務と連携しての配送コーディネートも受託し、各運送会社の各ドライバーに対する教育を定期的かつ継続的に実施している。

今後、システム力と提案力、改善力のあるLLPとして、強みである現場型自社WMS、DPSを導入し、システムとオペレーションの連携効率向上を図り、アウトソーシング効果を発揮できるLLPとして荷主側のベネフィットまで追求していく方針。

さらに、国内3PLにとどまらず、グローバル物流機能、グローバル商取引機能にまで着手していく。具体的には、勢いを増す中国を中心にした国際商品調達は物流、情流、金流が分断される傾向があり、調達側はそれにかかわる様々な管理に苦労し、商品原価を抑制するために中国機能を活用しているにもかかわらず、国内での管理工数が増加し中国機能活用の優位性を最大限に発揮できていないという問題が発生している。

そこで、同社はその課題を解決すべく、L・TRADE事業をスタートさせている。このサービスの最大の特徴は、IT（情報技術）、LT（物流技術）、FT（金融技術）、MT（マーケティング技術）を活用し、機能の高度化、複合化、高付加価値化を提供することにある。

国際調達における各ステータスのリアルタイムでの情報化を実現し、物流、情流、金流をトータルマネージメントし、きめ細かい国際物流の可視化を行う。

既に、国内アパレル通販会社の中国商品調達決済代行業務、コンビニエンスストア向け菓子の物流とファイナンス業務を受託し、各社のオフバランス経営のサポートを行い、サプライチェーンマネージメントの改革を実践している。

情報管理のアウトソーシング事業、PCライフサイクルマネジメント事業、セキュリティマネジメント事業、ネットワーク設計・構築・運営・保守事業など、システム開発会社としての専門性を最大限に生かし、ユーザー企業の情報システム部門として、ITシステムの利用サイクル全般を支援していく。

様々なロジスティクス関連技術、システム開発技術、ネットワーク技術、アウトソースビジネスを揃えた「ALL IN ONEソリューション」の提供ができるのが同社の強みとなっている。